

第7回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：2005年3月15日（火）15時～17時30分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、酒井委員、辰巳委員、松田委員、米澤委員、渡辺委員
4. 議題：①平成17年度事業計画（案）及び平成17年度収支予算書（案）について
②平成17年度再資源化預託金等運用計画（案）について
③預託台数等が前提として用いる推計値と異なる場合の対応について
④平成16年度第2四半期・第3四半期の決算報告について
⑤監査について
⑥その他

5. 議事概要

※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

(1) 議題①について

「平成17年度資金管理業務に関する事業計画書（案）」「平成17年度再資源化預託金等特別会計収支予算書（案）」「平成17年度再資源化預託金等特別会計収支予算書（案）の説明書」「平成17年度資金管理料金特別会計収支予算書（案）」「平成17年度資金管理料金特別会計収支予算書（案）の説明書」「平成17年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計収支予算書（案）について」「平成17年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計収支予算書（案）」「平成17年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計収支予算書（案）の説明書」「離島対策等支援事業に要する事務費用について」に関して資料3-1～資料3-9（含む添付資料、別紙）を使用して事務局から説明。各委員から了解された。

<意見>

- 再資源化等預託金預り収入と再資源化等預託金払渡支出の算定根拠として用いている平均単価が異なる。理由をわかるように記載した方がよい。
- 自動車所有者・ユーザー向け広報費の用途については、よく検討をし

てもらいたい。

- 関係事業者からのヒアリングを通じて、自動車所有者・ユーザーが何を知りたいのかを把握することも有効である。

(2) 議題②について

「平成17年度再資源化預託金等運用計画(案)」に関して、資料4(含む参考資料)を使用して事務局から説明。各委員から了解された。

<意見>

- 種別構成比率とラダー型の運用について、どちらを重視すべきかと言えば、ラダー型の運用である。
- 資料4記載の運用の基礎となる収入と再資源化預託金等特別会計収支予算書との関係が不明確である。その繋がりがわかるような説明を加えた方がよい。

(3) 議題③について

「預託台数等が前提として用いる推計値と異なる場合の対応について」に関して、資料5(含む別表、添付資料)を使用して事務局から説明。各委員から了解された。

<意見>

- 「予算の流用」という用語は、一般的には誤解を招く可能性があるもので、どの範囲で流用が認められるのかを補記した方がよい。
- 事業規模が大きくなれば支出も増加するのは当然であり、収入の増加額の範囲内であれば支出が予算を超過しても問題はない。
- 「最終的に推計値を上回ることが判明した場合は予算を超えて支出できる。」とあるが、「最終的」とはどのようなタイミングを指すのか。
- 基本的には、年度途中で最終的に予算超過することが明らかになった場合は補正予算を編成する。明確にその時期を決めることは難しいが、進捗状況等につき諮問委員会において御審議頂きたいと考えている。

(4) 議題④について

「平成16年度第2四半期決算報告書及び平成16年度第3四半期決算報告書について」「平成16年度第2四半期資金管理料金特別会計決算報告書」「平成16年度第3四半期資金管理料金特別会計決算報告書」に関して、資料6-1~資料6-3を使用して事務局から説

明。各委員から了解された。

<意見>

○報告書にある「決算額」という言葉は誤解を招くので、「実績額」としてはどうか。

●検討する。

(5) 議題⑤について

「内部監査実施要領」「平成17年度監査計画書(案)」に関して、資料7-1～資料7-2を使用して事務局から説明。各委員から了解された。

<意見>

○平成17年度監査計画書(案)について、平成16年度分もわかるような表にしてもらいたい。

(6) 議題⑥について

「資金管理料金」に係わる主な調達(入札)結果について」に関して、資料8を使用して事務局から説明。各委員から了解された。

以上